

第390号 令和4年9月

# 東京都農業会議情報

編集及び発行 (一社)東京都農業会議

渋谷区代々木2-10-12  
TEL 03-3370-7146

## 東京都の農業振興・農地保全施策に

### 関する意見など決定

令和4年第1回臨時総会開く

都農業会議は8月17日に臨時総会を開きました。新型コロナウイルスをめぐる状況を踏まえて

会員からは書面で議決権行使書の提出を受け、役員のみWEBで出席しました。

第1号議案では理事2名の退任を受けて補充選任が行われ、吉川英明氏（東京都信用農業協同組合連合会経営管

理委員会副会長）と久保秀一氏（東京都農業信用基金協会副会長）が選任されました。

第2号議案では令和4年度収支予算の補正が提案のとおり決定されました。

第3号議案では農業委員会法第53条に基づいて都へ提出する意見の内容が決定されました（内容は2面）。

山田則人農林水産部長（右から2番目）に意見書を提出した

## 東京都への意見書提出

農業会議は9月15日、臨時総会で決定した「東京都の農業振興・農地保全施策に関する意見」を東京都へ提出しました。

都庁を訪問した青山会長、吉川副会長、地区代表の岩楯理事、上野理事、岩田理事が山田則人農林水産部長に面会し知事宛の意見書を手渡ししました。（2面参照）



山田則人農林水産部長（右から2番目）に意見書を提出した

## 農委会長職務代理研究集会開く

6 農業委員会から活動事例

都農業会議は、7月28日に農業委員会会長職務代理研究会をWEB併用会議にて開きました。

本会より、農業委員会を巡る情勢と活動について説明しました。

次に、各農委会から活動事例が報告され意見交換しました。

◆福生市農委会・落花生の特産品化 ◆羽村市農委会・農ウオーク ◆稲城市農委会・特定生産緑地制度の周知 ◆三鷹

市農委会・認定農業者連絡会 ◆東村山市農委会・農地バンク制度 ◆東久留米市農委会・農地パトロール



活動を報告する三鷹市小林義明職務代理者（右）と塚本亮事務局長（左）

## 農業委員・農地利用最適化推進委員研修会開く

農地制度関係の動きなど研究

都農業会議は、9月6日（区内地区）、8日（南多摩）、13日（北多摩）、15日（西多摩）に農業委員・農地利用最適化推進委員研修会をオンラインで開きました。

研修会では、各地区協議会・連合会の会長の挨拶に引き続き、農業会議より農業委員会制度の検討状況や都内の農業委員会の重点活動などについて説明をしました。

次に、各地区ごとに江戸川

区、多摩市、東村山市、小平市、あきる野市より活動事例の報告がされました。

次に、農業会議より都内の農地の状況や都市農業をめぐ

る制度や農業経営基盤強化促進法の一部改正などについて説明をしました。

最後に、行政書士の田中勉氏より農地関連事項を中心とした民法・不動産登記法の改正について説明がされました。

## 八王子研修農場などを視察

北多摩地区農業委員会連合

会（松村俊夫会長 清瀬市）は、7月7日、視察研修会を開きました。

まず訪れたのは、東京農業アカデミー八王子研修農場。

「覚悟をもって東京の農家を目指す」担い手を育成しているという小寺農場長の概要説明の後、整備された研修ほ場を視察し、農作業に励む研修生と直接意見を交換しました。

次に、八王子市の中西

ファーム（園主 中西一弘さん）を現地研究し、35歳の後継者中心の若い担い手や灌水システムの試験栽培、市場ゼ

ロの地元密着販売、メディア頻出タイプアップ企画など4ヘクタールの野菜づくりを伸び

伸び楽しむ様々な挑戦と、最終笑顔の中西さんの説明が印象的でした。

ほ場の状況や将来の希望を語る研修生と意見交換



ほ場の状況や将来の希望を語る研修生と意見交換

# 「東京都の農業振興・農地保全施策に関する意見」要旨

都農業会議の臨時総会で決定し、都へ提出した意見書の要約は左記のとおりです。

(全文は農業会議ホームページで公開 <http://www.tokai.gr.jp>)

## 東京都の農業振興・農地保全施策に関する意見

持続可能な東京農業・農地へ導く政策の実行について、  
1. 肥料・飼料及び生産関連資材等の価格高騰対策の強化  
原料の多くを輸入に依存する肥料・飼料及び生産関連資材や燃料の急激な価格高騰は、安定した生産に支障をきたすばかりでなく、営農意欲の減退にもつながりかねない深刻な事態を招いている。引き続き農業者が安心して経営に専念できるよう、肥料等の価格急騰への直接的な支援策を早期に講ずること。  
2. 相続税制等の抜本的改正にむけた国への要望  
都市農業振興基本法においては、都市農業振興施策を実施するために必要な法制上、財政上、税制上等の措置を講じなければならぬとしているが、平成27年に相続税の課

## 税がさらに強化されたことにより、都市農地の減少に歯止めがかからない状況にある。

よって、都市農業振興基本法の目的に沿い、今後、都市農地が永続的に保全され、次世代への継承が可能となるよう、国に対して相続税制等の抜本的な改正を強く働きかけること。

3. 持続可能な東京農業を支える農業経営及び農地保全・利活用の促進対策  
(1) 東京都産農産物の生産振興と消費拡大に向けた対策の強化  
食料の安定供給に貢献するため、都農産物の一層の生産振興と、都産農産物の積極的な活用及び消費拡大につながる流通・販売対策や都民の購買意欲向上を促す取り組みを強力に展開すること。

(2) 環境負荷低減に取り組むための農業者への支援  
東京農業・農地が持つ多面的機能は、地球温暖化対策や環境機能の維持に大きく貢献している。このことを都民に周知し、農業者の更なる取り組みに向けて、環境負荷低減

に資する生産関連資材の導入や技術指導等の支援を強化すること。  
(3) 農地の保全・継続につながる経営への支援  
小規模ながら意欲的に経営向上に励む農業者や、独自の農業を継承する農業者の農地の保全・継続につながる経営への支援を強化すること。

(4) 農地の保全と利活用  
ア. 長期間の農地賃貸借を促す奨励金制度の創設  
イ. 生産緑地の貸借のマッチングに必要な「生産緑地バンク」及び区市をまたぐ「広域マッチング」への支援。  
ウ. 農地相続者等の負担となつている荒廃農地を農地中間管理機構に譲渡もしくは10年以上無償で貸し付ける場合は、農地中間管理機構が当該農地を再生し、担い手に貸し付ける事業の創設。

(5) 農業経営基盤強化促進法等の一部改正への対応と支援  
農業経営基盤強化促進法等の一部改正に伴い、本法等の施策が効果的に運用されるよう、市町村・農業委員会等へきめ細かな支援を行うこと。

## 理事会・常設審議委員だより

### 8月理事会

8月17日に令和4年度第1回臨時総会に続き、WEBにて開催しました。  
常設審議委員2名の退任を受けて、補充選任が行われ、吉川英明氏（東京都信用農業協同組合連合会経営管理委員会副会長）、久保秀一氏（東京都農業信用基金協会副会長）の2名の常設審議委員が選任されました。

権の取得と農地利用配分計画の決定及び使用収益権の設定（8月）について事務局から報告しました。  
あわせて、農業経営相談事業実施要綱の決定について協議しました。

あわせて、報告事項として①会長及び専務理事の職務執行状況、②定款第42条第2項に基づく常設審議委員会での処理件数について、それぞれ事務局から報告しました。

第6回常設審議委員会  
9月16日にJ A東京新宿ビルにてWEB併用方式で開催しました。  
①農地法第4条・5条の農地転用許可（8月）について東京都から報告（農地法第5条3件）がされたほか、②農地中間管理権の取得と農地利用配分計画の決定及び使用収益権の設定（9月）について事務局から報告しました。

第5回常設審議委員会  
理事会に引き続き開催しました。  
①農地法第4条・5条の農地転用許可（7月）の状況について東京都から報告（農地法第5条1件）がされたほか、②農地中間管理

あわせて研修として、特定生産緑地を巡る状況と「緑農住」まちづくりについて、東京都都市整備局都市づくり政策部緑地景観課菅原淳子課長より説明がありました。

# 令和3年度都市農地保全調査結果概要

都農業会議は、東京都の委託を受け、令和3年度都市農地保全調査をとりまとめました。

本調査の実施にあたりましては、調査対象者各位はもとより、農業委員会をはじめ区市町村、JA、関係機関より多大なるご協力をいただきましたこと、あらためてお礼申

し上げます。

本年度も、本調査の実施につきましても協力を賜りますこと、あらためて、お願い申し上げます。

ここで、調査結果の概要などを報告します。

## 1. 調査概要

### 【調査の目的】

生産緑地を貸したい、借りたいという意向がどの程度あるか、また、そのための条件がどのようなものかを把握するため。

### 【調査対象者】

生産緑地を有する区市のすべての農家およそ1万件。

### 【回答の状況】

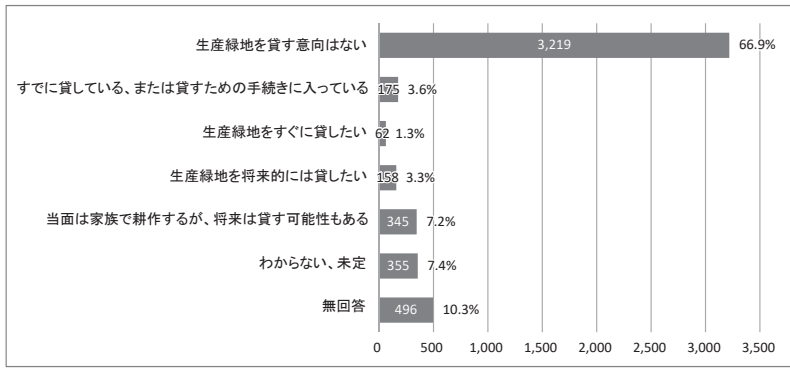
調査対象者の60%程度・およそ6千件。

### 2. 結果概要

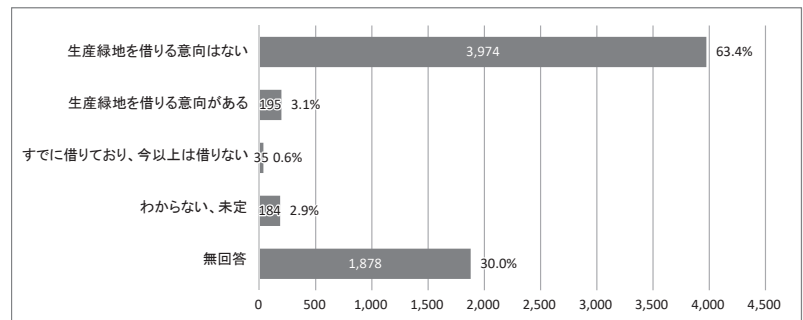
#### 【生産緑地を貸したい意向の有無】

所有している生産緑地を貸し出す意向があるかどうかについての調査結果が図1です。「貸し出す意向は無い」が最も多く66・9%を占めています。一方「す

図表1 所有する生産緑地を貸し出す意向<全体>



図表2 生産緑地を借りる意向<全体>



でに貸している、または貸すための手続きに入っている」は3・6%、「所有している生産緑地をすぐに貸したい」は1・3%にとどまっています。このことから、現状では生産緑地を貸し出す意向は少ないという結果となりました。

#### 【生産緑地を借りたい意向の有無】

生産緑地を借り入れる意向があるかについての調査結果が図2です。「生産緑地

を借りる意向がある」と回答したのは3・1%にとどまり、「借りる意向はない」が63・4%を占めています。また、「わからない、または未定」が2・9%、「無回答」が30・0%を占めています。

#### 【借りる際の条件】

生産緑地を「借りる意向がある」と回答した者に対し、借り入れる際の条件を聞いた調査結果が図3です。「自分の住居や所有する農地からの距離が近いこと」(68・2%)

が最も多く、通いやすさを重視する農家が多いことがわかります。次いで「安心できる仲介者(区市、農業委員会、JAなど)がいること」(56・9%)が続きます。

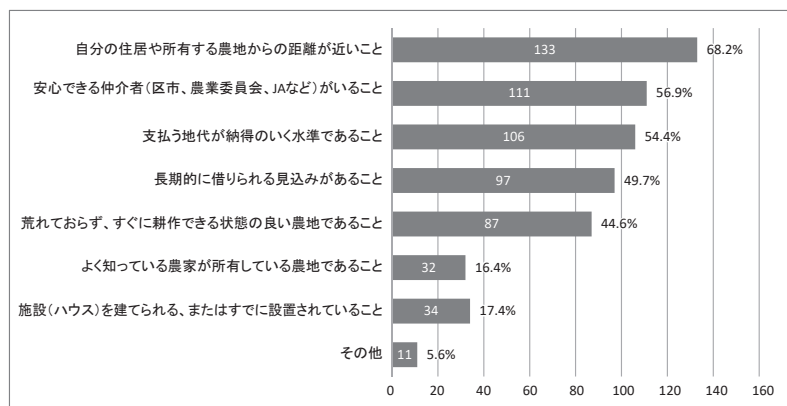
#### 【まとめ】

調査結果から、生産緑地の貸借について、以下の点が明らかにになりました。

・現状では少ないが、一定程度、貸借の意向を持つ農家は

- ・存在する。
- ・貸借の面積規模は小面積希望する農家が多い。
- ・貸借には自治体やJAなど適切な仲介者が関与し、当事者の安心感を担保することが肝要。
- ・市町村の範囲を超える貸借については、自治体やJAに代わって、貸し手と借り手のマッチングなどを担う適切な仲介者が必要。

図表3 生産緑地を借り入れる際の条件<全体> (複数選択)



### 人を惹きつける魅力的な文章の書き方について

広報研究会開く

都農業会議は、このほど広報研究会を開き、各区市町農業委員会の農業委員会だより編集担当者など約60人が参加しました。

研究会では、都農業会議の相原事務局長が農業委員会活動における情報活動の重要性について説明をしました。

次に、全国農業新聞の記者や編集などを担当した全国農業会議所の川崎新聞業務部長より「人を惹きつける魅力的な文章の書き方」について説明をしました。

また、東大和市農業委員会と武蔵野市農業委員会から農業員会だよりの作成にあたっての編集方針や作業分担などについて説明をしました。

### 「食と農セミナー」を開きます

「食と農セミナー」を開きます。東京の農業者と消費者がともに考え、ともに学ぶセミナーです。

日時 12月10日(土) 午後2時より

開催方法 オンライン方式 (Zoomを使用します。ご

最後に、全国農業会議所の大出新聞業務部長より農業をめぐる情勢や全国農業新聞の普及活動について説明を

しました。農業委員会における情報活動がますます重要になる中、効果的な情報発信を学ぶ貴重な機会となりました。



武蔵野市農業委員会より農業委員会だよりの取組について説明をした

自宅等からご参加ください

講演会 『持続可能な「食」と「農」とは』 「食べる」から考える私たちの未来」

講師 下川哲さん(早稲田大学政治経済学術院 准教授)

詳しくは都農業会議へお問い合わせください。

### 「農業経営の法人化と農地の貸借・雇用の活用研修会を開きます

「農業経営の法人化と農地の貸借・雇用の活用研修会」を開きます。

日時 第1回11月9日(水) 午後1時より/第2回11月22日(火) 午後1時より

会場 第1回 ネットつたまぐーセンター 3階 研修室 B(青梅市) / 第2回 京王

プラザホテル八王子 4階 扇内容 農業経営における税制と法人化について(税理士法人 安心資産税会計 平田康治氏)のほか、新規参入法人の取組紹介や現場見学を行います。詳しくは農業会議へお問い合わせください。

### 永年勤続表彰・記念講演会を開く

東京都農業委員会職員研究会

東京 岸幸夫会長は、8月30日にJA東京南新宿ビルにて全体研究集会を開きました。

はじめに、第48回永年勤続表彰を行い、会員9人が表彰されました。

引き続き、記念講演会を開きました。記念講演では、株式会社 corot の代表取締役社長の峯岸祐高氏から、農産物流通について講演しました。

峯岸氏は、株式会社 corot で取り組んでいる農産物の販売・流通や、地場産農産物を使ったレストランの展開、農家民宿の取り組み、また新規就農者との繋がりなどについて話しました。

久保昂輝(葛飾区)、岩久保徳(江戸川区)、上村純也(福生市)、宮田満裕(羽村市)、田中悠也(瑞穂町)、萩原直樹(町田市)、沖迫達矢(多摩市)、川田日出夫(三鷹市)、本木豊(武蔵村山市)



記念講演をする 峯岸祐高 corot 代表取締役社長

### 町田市で座談会開く

町田市農業委員会(吉川庄衛会長)は、8月5日にJA町田本店で、座談会を開きました。

町田市農委会の吉川庄衛会長のあいさつに引き続き、都農業会議より特定生産緑地の状況や都市農地貸借円滑化法の活用や、農業者年金のポイントと仕組みについて説明しました。質疑応答では、具体的な生産緑地の貸借についての質問がありました。

### 10月・11月の日程

- 10・4 (火) 農地・経営部会長研究会
- 10・6 (木) 島しょ地区農委会・農業者大会
- 10・14 (金) 農委会職員現地研
- 10・17 (月) 常設審議委員会
- 10・17 (月) 現地研究会
- 10・21 (金) 農委会職員全国研究会
- 10・27 (木) 会長研究集会
- 11・16 (水) 監査会
- 11・17 (木) 事業推進協議会
- 11・17 (木) 常設審議委員会
- 11・18 (金) 女性農業者等研修会
- 11・28 (月) 農業者年金推進会議
- 11・29 (火) 島しょ地区職員検討会